

5月のくらし

広報かわにし

農薬の危害を防ごう
青少年保護育成運動

発行所 川西町役場 編集人 星名四郎
 発行者 川西町 印刷所 白南風社
 (町長 中村壮吉) 定価 1部5円

一人口の動き
 5月1日現在
 男 6,589人
 女 6,858人
 計 13,447人
 世帯数 2,700世帯

県議会議員選挙投票結果調

年度	選挙当日の有権者			内						投票率		
	男	女	計	投票者数			棄権者数			男%	女%	計%
				男	女	計	男	女	計			
38・4・17	3800	4182	7982	3345	3719	7064	455	463	918	8803	8893	8850
34・4・23	4043	4409	8452	3470	3474	6944	573	935	1508	8583	7879	8216
(38・4・17) 中魚沼郡	11894	13118	25012	10580	11733	22313	1314	1385	2699	8895	8944	8923
(34・4・23) 中魚沼郡	14524	15936	30460	12310	12198	24508	2214	3738	5952	8476	7654	8046
34・4・23 (県合計)	658418	752882	1411300	572901	611655	1184556	85517	141227	226744	87018	1248393	

県議会議員候補者別得票数及び開票結果

候補者別 町別	上村賢造	柿津文雄	小林久平	藤木利一	計	投票 総数	有効 票数	無効 票数	無効 率
川西町	2,331	3,115	1,496	81	7,023	7,064	7,023	41	0.58%
津南町	1,133	5,104	3,825	268	10,330	10,364	10,330	34	0.33
中里村	2,668	1,118	595	483	4,864	4,885	4,864	21	0.43
計	6,132	9,337	5,916	832	22,217	22,313	22,217	96	0.57

婦人の政治意識たかまる

県議選の開票結果
 公明選挙の常時啓発が必要

農耕に先がけて、四月いっぱい全国的に繰りひろげられた統一地方選挙は幾多の話題と、当落の悲喜劇をのこして終了した。
 県下一の激戦地といわれていた中魚沼郡の県議選は、うわさにながわす激しい競争の結果、柿津文雄氏が初当選し、これから四年間

農政をになうこととなった。投票日の四月十七日は幸い天候に恵まれ、投票率は八十八・五〇パーセントと、前回の八十二・一六パーセントを六・三四パーセントも上まわり、とくに婦人においては前回に比し、十・六四パーセントの上昇を示し、男子に比べ

て著しく好転したことは婦人の政治への自覚の成長を記録したものと見える。このような婦人の選挙意識の向上は、これまで公明選挙の啓発活動に婦人学級などを通じて、じつに熱心に学習している結果、選挙に臨んで実践できたものと思われる。
 開票は即日午後八時三十分から行なわれたが、その結果は別表のとおりである。

五月の行事

- 一日 岩瀬ポンプ入魂式
- 二日 橋地区老人クラブ 川西町教育振興会
- 三日 川西町慰霊祭(千小) 憲法記念日
- 四日 郡町村会 (町長)
- 五日 川西町成人式(公民館) 子どもの日
- 六日 立夏 上野ポンプ入魂式
- 七日 議会議員研修旅行 生活教室千手農協婦人部
- 十日 おかあさん実習畑耕作始め
- 十一日 春の全国交通安全運動
- 十五日 母の日
- 十五日 上野地区敬老会
- 十三日 固定資産評価会
- 十五日 県町村会 (町長)

最近不愉快

花見気分も一段落したところで反省をひとつやってみよう。
 花よりタンゴという表現が、話かかってこんな無責任な仕事がある。これは自分の経験だが、過日、十日町の駅から小荷物到

町づくり

余方にくれたといいたのは二十日だったから、いそいでうがよいだろう。バックその場で引き取りに駅まで行ったミラーはない、ブラケのところがである。通知書を職員キヤップはもぎとられて提示して取りにきた旨を伝える。さらにスエッチのとき、その荷物は十八日に学校の先生がきて持って行ったという返事をみたのだから。
 さで、千手の花見をながしむたから、電話連絡かなにかく感じ、川西にいやな思い出を残して先生が早いうち駅から受けたことだろう。被害にあったのだった後にわたしがこのこと、すがどこのだれであっても同じことでは引き取りの済んだ荷物をとりだが、人を不愉快にし、たまたまに行つたという間の抜けた一幕だ損害を受けた人が他村の人だった。だがしかし、後で学校にたから、川西町の印象を悪くして帰しかめるまでもなく十八日にすてて行ったというおまけまでついにフィルムは駅に到着してその日たとき、花見の解放気分、酒のほろほろに引きとりも済んだのに、なせ十徳心、反省したい気持ちがひとしお知事が委員会に舞いこんだのか。

上野の大工殺し

盆おどりの歌などというところ、何となくつかぬ感じがするものだが、なかにはブツブツな内容を織りこんだものがある。

「大工殺した上野村
百両の金出しや
白河百姓の災難だ」

という三階節の文句がそれだ。上野には、「若い大工を殺してしまつた後始末に百両の金が要ることになったが、村中の力をあわせてもその金が調達できず、とうとう村中の田んぼを抵当にして星名さんから貸してもらい、ようやく支払つたことができた」から、上野にはそれ以来小作人が多くなつてしまつた」などという話が伝えられている。

いまから百九十年はかり前（安永三年のこと）、上野の元町部落にある長安寺の庫裏の修築が行なわれた。

そのときの棟梁は三層郡出雲崎町の久米七といふ大工で、同じ町の八人の弟子たちといひしよに泊り込みで仕事を進めていた。すると、その中のひとり「常七」といふ若者が、村の娘と恋ゴロになつてしまひ、隠すよりあらわれるといふ言葉そのまゝに、やがて人の噂に立つようになった。

常七が毎晩娘のところに通つてゐるなどといふ話を耳にした村の若い衆たちは、とても黙つて聞いてはいられない。「他処者のクセに生意氣な」とばかり、何かにつけて田んぼをみられるようになってしまつた。

常七自身も悩んだことであらうが、かえつて恋心が高まる結果になつてしまひ、元町部落から上野部落までの暗い田んぼ道を、一日の仕事に疲れた身を夜毎に通いつめる有様だつた。

おそろく、村の若い衆たちから手を引けなごとの強い申し入れも再三あつたことであらうが、お互いの立場を納得することも和解することもできず、ついに最後の破目に落ちこんでしまつたようになつてしまつた。

七月七日といへば、むかしから七夕と呼んで星を眺め、涼しい夏の夜を楽しむ日であつた。しかし、この年のこの夜は、上野村にとつて「おぼけざ（大袈裟）な言い方をすれば、村の運命を左右するやうな夜になつてしまつたのである。

常七は、この日の仕事を済ますと、仲間の治三郎と連れだつて上野まで遊びに出た。そして、酒売りの安左衛門のところで冗談話をサカナにした。ながら酔くいっぱいやってい

た。夜五ツ時分のごとで（午後八時）、このときの代金は十四文であつたといふ。

「用事があつて、ちよつと香つていくところがある」といふ常七と分れた治三郎は、ひとあし先に長安寺へ帰つたけれども、虫が知らせるのか、何とほなしに心が落ちつかなくて、とうとう立ちあがり、迎えに出た。郎落から「一二三と提灯の光をたよりに歩いていくうち、治三郎はアツと聲を立てて棒立ちになつてしまつた。

消防の話題

自慢の消火器 その一

五月四日に吉田の樽沢で火災があり一軒全焼しましたが原因は石油の引火といふことでした。そんなとき消火器の二、三本もあつたら簡単に消えたであらうと思つた。消火器は町場だけ備えるものでなく、部落でも石油コンロや耕うん機がはいつてゐる今日、少なくとも十軒に一本ぐらい泡式の消火器（一本四千元）を備えなければ、鬼に金棒とまでゆかなくとも油

火災の効果は満点かと思ひます。当町の良い例としては本年四月東善寺町内で泡式消火器を五軒に一本の割合で設備し、玄関先の見えやすいところに下げてあり、いざというときには八本の消火器が守る、町内自慢の一つです。

新しいサイレン その二

五月五日の「子どもの日」を祝してというわけではありませんが、役場屋上の新しいサイレンが第一声を鳴らしました。今までのサイレンが古くなり、音が小さくなつて聞えが悪くなり火災の時でも鳴らさないため消防団員の出勤がおくれたといふ話もありました。

そんなことではいけないと町当局が考えなければならぬといふところのんびりしているのがお役所仕事サイレンが鳴らなかつたために大事になつてはと心配したのが消防団長さん。さっそく三方ラッパの五馬力を寄贈してくださりました。

部落だより

鉄のごと黒々とめられてゆく「あせ」、そのあとをたどつて、耕うん機のエンジンの響き、追つてくる農繁期と時間の問題をとりあけてみました。

変わりゆく社会と、年々ふえてゆく団体、グループ、サークル。各部落とも頭をいたためてゐることとして、会場の使用法と時間のことにはしほられるやうです。

仁田部落にて、区長さんをして婦人の方からのお話によると、決められた場所に、決められた時間になかなか集まらない。この部落は、村が大きいだけにまた集会にはそろわないで困るといふ。そこで、迎えに行くのが婦人や

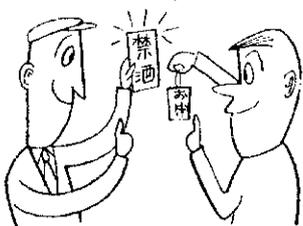
子どもに限られ、話の始まるのがとんだ時間になり、疲れており、なかなか肝心の話し合いに協力的にならず、もつと腹心をもち、積極的な発言を行ない、公正な断定とともに忙しい時なんだしするから、早めに集まり残り長時間にならないように、気を付け時間を守る習慣を身につけたいものです。公共の建物使用の心構えと、安全な処置を家に帰つても心配でまた見にくるというし、それでもその夜は気分的にらくらくとねむれないと仁田部落の区長さんの話です。

消防団の定員 その三

最近消防団員が不足しているおりから国では人口一万人以上の密集地には消防署を置くよう指導しております。しかし山間地ではどうしても消防団に頼らなければなりません。これからは入団してくる方が少なくなるばかりです。毎年定員に達するよう町民の方々がたから協力いただきます。

安全第一

「ぼくのお守りはこれさ」



全国交通安全運動（5月11～5月20日）

町の声

「ゴミを処分してください」 これらゴミをすてる公徳心のなさがしもの大勢も消えて、若草もさやうんぬんされますが、生活の美しい花々が通りがかりの目を向上人口の増大にとめない、今後楽しませるところとなりました。と個々の家庭の力では増加するゴミころが町を歩いて目につくのは川の処分はとももしきれなくなるのの流れのふち、道のはたをところは当然であり、近代的大都市並にきらわすつみあげられた川西町においても近い将来、清掃おびただしいゴミの山の課や各種設備の設置が必要となつてきたらしくです。これからはえや虫が出さしたつて早急にこのシンカイたらというところになるの回収車、シンカイ焼捨場を作つたか、川上はゴミの山、そして現在各所に山積してあるゴミをの下の川で野菜を洗つて清掃し、今後の回収もスムーズにとなどを考えるときことに不愉快行なわれんことを願ひます。まわりまわしおそろしいような気、伝染病の流行期もま近にひかえがいたします。世を顧みず東京都また町の美化のためにはすかしの手りの山対策ならす川西町のこいことであります。のシンカイ対策を早急にしていただくといふ町当局に要望します。します。

共通な問題として、この二つのことは各部落のみならず、まよらうから家庭の中においても、時間の励行を守る習慣を身につけてほしいものです。（K通信員）

戸籍の窓から

うぶ声—御すこやかに

たかさご—御円満に

渡貫 信男 上野 一
高橋 明郎 高倉 三七

星名美恵子 富二女 沖立
数藤 和秀 梯一長男 沖立
羽鳥 直一 力夫長男 伊友
羽鳥 幸夫 幸威三男 伊友
富井真理子 幸夫長女 伊友
櫻間 亮 富雄長男 中屋敷
黒嶋 正巳 善助長男 高原田
丸山 博之 政勝長男 高原田
星名 和子 隆 長女 電所通
渡辺 孝治 孝平三男 上野
入沢 昇 義一長男 上野
中嶋 直大 勇治長男 上野
丸山 浩一 徳助長男 根代
田中 雅利 春吉長男 根代
田中 佐智子 義勝二女 下原
江口 勝也 清 四男 小日倉
沼尾 美幸 満 長男 大日倉
登坂江理子 直二女 赤谷
佐藤 栄子 栄一長女 小脇
小川 肇 湯助長男 越ヶ沢
高橋 靖 秀之二男 大日倉

板間 弘吉 伊友
星名 ムネ 伊友
数藤 剛 沖立
小川 立子 田戸から
高橋 郁夫 中屋敷
小海 愛子 寺尾から
清水 久一 寺尾
服部 シス 八箇から
星名 安一 沖立
山田 潜子 仁田から
柄沢 林蔵 沖立
小林 サク 寺尾から
内山 重義 新町新田
田口 貞子 木落から
小林 一夫 元町
高橋 カツ 坪山から
大久保克治 野口
田中クニ 仁田から
野沢三代蔵 野口
五十君 庚 野口から
佐藤 喜好 仁田
川上 妙子 新町新田から
押木 和夫 田戸
斎木 みち 南鏡坂から
樋口 進 中仙田
樋口アヤ子 中仙田から
米山 重高 室島
高野 美江 室島から
登坂 勉 岩瀬
田林紀久子 長野から
中条 猛 岩瀬
高橋 マキ 坪山から
登坂 昭男 赤谷
新郎 大熊 ヨキ 中条から

昇天—御めい福を祈る

田村 ノブ 鶴吉 八七
高橋 トメ 田中 八四
田口 東作 木落 七八
高橋 清治 赤谷 七八
星名 峰七 伊友 七九
丸山 一平 学校町 六六
藤巻政五郎 寺ヶ崎 六六
清水 幸一 上野 六〇
星名 テイ 伊友 四〇
南雲 益男 四郎兼 一八

みんなのでつくろう きれいな環境

運動のねらいは(1)環境衛生をよ
くするための公衆道徳を高め、町
をよこさぬ運動をする(2)家庭の内
外を大そうじすること(3)地域
社会全体の清掃、河川、公園、公
共の場所の清掃をする(4)カ・はえ
などの駆除とくにその発生源を除
き、ねずみの駆除を行なう(5)地域
全体の人びとが力をあわせて、地
域ぐるみ、町ぐるみの運動とする
などである。

税の相談日

税務署を近づきやすいものにな
るため、五月一日から毎月三回五
の日を(五・十五・二十五)み
なさんの税の相談日にあてており
ますからご利用ください。但し日
曜、祭日は翌日になります。

●青色申告をしようとするとき
●税法の特典(準備金や引当金
特別償却など)を利用して合理的
に税金を少なくしようとするとき
●従業員を使用しようとするとき
●また給料を支給するとき
●税法の知識を得たいとき
●法人税、所得税、その他国税の
決定および滞納処分等について不
満があるとき
●災害により財産に相当な損失を

受けたり、本人や家族が病気にか
かった事実、その他特別の事由の
ため一時に納税が困難なとき。
(十日町税務署)

福祉年金を受け ている皆さんへ

もう年金を受けましたか、五月
六日から支払いがはじまっていま
す。早めに郵便局で受けましょ
う。このつきからの支払いを受ける
ために定時届をしなければなりま
せん。
届出には次のものを忘れずを持
参してください。

- 国民年金証書
- 証書に押印の印鑑
- 定時届の受付を次により行ない
ますので忘れずに届出ましょ
う。
- 千手地区 役場社会係
5月6日より6月1日まで
- 上野地区 上野連絡所
5月27日8時半より正午まで
- 橋地区 橋 出張所
5月28日8時半より正午まで
- 白倉地区 白倉小学校
5月29日8時半より正午まで
- 仙田地区 仙田出張所
5月30日8時半より正午まで

右の日程に届出できない人は六
月一日までに役場社会係まで証書
と印鑑をもっておいでください。
この定時届をしなないと年金がも
らえませんがご家族の方のご協
力をお願いします。
ことしは国民年金法の改正で九
月分以降の福祉年金額が次のよう
に増額されるほか、母子準母子福
祉年金では20才未満の身体障害者
(国民年金法で定める一級程度の
障害者に限られる)の子(母子の

場合)孫、弟妹(準母子の場合)
を支給要件または加算の対象とし
て認めることになりました。また
所得制限もたいぶゆるやかになり
ました。

町の掲示板

老令福祉年金 一三二〇〇円
障害福祉年金 二一、六〇〇円
母子 福祉年金 一五、六〇〇円
准母子 (社会係)

産婦・外科医師着任
千手診療所においては昨年九月
以来欠員でありました外科名島正
太郎医師の後任として、五月四日
産婦人科 依岡(ゆりおか)省
策医師(京都医大出身)が着任い
たしまして診療を開始いたしました
たから、お知らせいたします。

上野部落の農休日
五月十八日
六月 六日
七月 一日
八月 四日
九月 二日
十月 十二日
十一月 三日
十二月 十八日
(三在目の農休日を、みなさん
の協力で有意義にすごしま
しょう。)

かわにし
俳壇
太田白南風選

元町 星名政義
○家の来る村の雪道なほおしり
春園にかかりもなくそりを引く
元町 金子富宝
夕間に野火の炎のゆれろこぎ
さえずりの真下のいもを植えにけり
大倉 金子洋石
あれこれの種時き暮れぬ日曜日
大倉 中条夢人
転任の先生おくる花ふぶき
大日倉 高橋直司
電柱に広告高き雪解かな
大日倉 高橋 波杏
ひろひろと雪に土撒き春を待つ

こんな豪雪地帯に果樹
などとても望めない。
いろいろな苗を植えても
みんな折れたり、枯れた
り、結局当地は柿が栗が
関の山ではないかの……
心配されたり、ひやかさ
れたりしながら一昨年ブドウ苗を
五十本植えました。雪降り前に支
柱からはなして地面に這わせるこ
と二支、雪にも虫にも病気にもま
けずほとんどが元気に育ち、桃色
の美しい芽が萌え、今春から本格
的に屏風づくりに仕立てようやら
ブドウ園らしい趣が出てきました
今秋は収穫も望めます。

自動車税について
五月三十一日は自動車税(第
期)の納期限です。
「町の声」投稿のかわし
所・氏名を編集係へお知らせし
たい。

38.5
領収